

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 12月 28日

【評価実施概要】

事業所番号	0173501305		
法人名	医療法人社団 倭会		
事業所名	グループホームしづく		
所在地	登別市柏木町4丁目24番地9 (電話) 0143-81-6160		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年12月6日	評価確定日	平成19年12月20日

【情報提供票より】(平成19年11月9日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18年 3月 22日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	15人, 非常勤 3人, 常勤換算 12.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	15,000~20,000 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200 円	

(4) 利用者の概要(11月9日現在)

利用者人数	18名	男性	6名	女性	12名
要介護1	4	要介護2	5		
要介護3	4	要介護4	4		
要介護5	0	要支援2	1		
年齢	平均 86歳	最低	77歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	開田医院・なかがわ歯科医院・ミネルバ病院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は住宅街に立地し、地域住民と交流を深めながら地域に溶け込んだ事業所運営を実践している。管理者を中心として職員一体となって利用者の身体機能を最大限活かし、一人ひとりの希望に応じた支援を行っている。事業所内全体が落ち着いた雰囲気であり、利用者はそれぞれ自分のペースを保ちながらゆったりと生活している。今後も母体の医療法人と密なる連携を活かし、利用者が安心して暮らしていくことが期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での課題であった「利用者が場所間違いを起こさないための工夫」については、各居室がそれぞれ識別されやすいように表札を掛け、工夫している。また、介護計画に沿った個別記録の記載方法についても検討しており、改善に取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員一人ひとりが個別に自己評価を行った後に、ユニット毎で話し合い内容をまとめている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>利用者家族・地域住民・町内会会長・民生委員・地域包括支援センター職員を構成員とし、2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。会議では事業所の運営状況や評価結果等について報告している。また、地域住民向けの認知症に関する研修会を開催するなど、会議を活かした取り組みを行っている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>事業所内に意見箱を設置しており、家族が意見・苦情等を伝えられる工夫をしている。また、個別のアルバムを作成し、家族の来訪時に情報提供をしながらコミュニケーションを図り、家族が意見・要望を話しやすい雰囲気づくりに努めている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p>
	<p>町内会に加入し、地域との交流を図っている。また、町内に広報誌を配布して事業所の運営状況・活動内容等を伝え、事業所への理解を深められるよう働きかけている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の思いに寄り添って安心した暮らしを支援することを盛り込んだ、母体法人がつくった理念を掲げている。	○	今後、全職員で話し合い、地域密着型サービスとしての役割を盛り込んだ事業所独自の理念をつくりあげることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ユニット毎に理念実践へ向けた目標を立て、日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して地域の行事や活動に参加し、地域住民との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員一人ひとりが自己評価を行い、話し合いながら内容をまとめている。また、全職員が評価結果を真摯に受け止め、改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者家族・地域住民・町内会会長・民生委員・地域包括支援センター職員を構成員とし、2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。会議では事業所の運営状況や評価結果等について報告し、そこで出た意見を日々のケアサービスの質の向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は市の高齢者支援会議の構成員となっており、日頃から担当者と連絡を取る機会が多く、意思疎通を図りながらともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>広報誌や個別の連絡時に利用者の暮らしぶりや健康状態等について、家族に報告している。また、利用者一人ひとりのアルバムを作成しており、家族の来訪時に提示して利用者の日々の様子を伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事業所内に意見箱を設置しており、家族が意見・苦情等を伝えやすい工夫をしている。また、来訪時に職員は家族の意見等を聞くよう努めている。</p>	○	<p>今後も家族の来訪時に声かけをしたり、電話連絡等で家族とのコミュニケーションを図り、より積極的に家族の意見・苦情等を引き出す取り組みが期待される。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>全職員がチームワーク形成に努め、離職・異動がないよう取り組んでいる。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人全体の研修を2ヶ月に1度開催しており、職員は参加している。	○	今後、全職員が事業所内部・外部研修に定期的に参加したり段階に応じた知識取得に取り組むことが期待される。
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	胆振管内全体のグループホーム広域連合会に加盟して定期的な研修会参加により、ネットワークを構築し、質の向上に取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	事前に利用者・家族に事業所を見学してもらったり、職員が面談を行い顔馴染みになるよう工夫している。また、入居後も必要に応じて家族にも宿泊してもらうなど、利用者が安心して事業所で暮らせるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	職員は利用者の生活歴を踏まえ、利用者一人ひとりの得意な事を教えてもらうなど、支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は日々の利用者との関わりの中から希望・意向の把握に努め、困難な場合には家族から情報収集するなどして、その人らしい生活となるよう支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	利用者本人・家族の希望を採り入れ、職員間で話し合いながら介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	定期的に見直しを行い再検討するとともに、利用者の状態に応じてそのつど家族と話し合い、介護計画を作成している。	○	今後も利用者一人ひとりについて全職員で話し合い、本人・家族の意見や要望を聞きながら現状に即した介護計画を作成することが期待される。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	利用者一人ひとりの希望に応じた外出支援や外泊支援を行っている。また、母体法人から定期的に看護師が訪れて利用者の健康状態を確認するなど、柔軟な支援を実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者のかかりつけ医や協力医療機関への受診支援を行っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化・終末期についての介護指針を定めており、利用者・家族に説明して同意を得ている。また、方針内容については母体法人の医師・看護師・職員で共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者の誇りを損ねることのないような対応を心がけている。また、職員に対して個人情報の取り扱いに関する教育を行っている。</p>	○	<p>今後、面会記録簿を個別にして事業所が保管するなど、面会者の個人情報の取り扱いにも配慮することが期待される。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人ひとりのペースを大切にした支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の力量に応じて食事の準備や後片付け等を職員と一緒にやっている。また、和やかな雰囲気の中で利用者と職員が同じ食卓に着き、利用者のペースで食事を楽しんでいる。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>曜日や回数など、利用者の希望に応じた入浴支援を行っている。また、夜間も入浴できるよう体制を整えている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食事の準備や後片付け・畑仕事など、利用者の力を活かした役割ごとの支援を行っている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>食材の買い物・ドライブ・町内会活動への参加など、利用者の希望に応じた外出支援を行っている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は鍵をかけておらず、職員は利用者の安全に配慮して見守りながら支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	年に2回避難訓練を実施し、夜間想定の訓練も行っている。	○	今後、緊急時に地域からも協力が得られるような働きかけへの取り組みが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	利用者の健康状態に応じた調理方法の工夫をしている。また、定期的に母体法人の栄養士に献立を確認してもらっており、バランスの摂れた食事内容となっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	共用空間は季節に応じた飾りつけにより、利用者が季節感を感じられよう配慮している。また、音や光にも配慮しており、利用者が居心地良く過ごせるような空間となっている。	○	共用空間の一部で仕切り壁に傾斜をもたせている。そのため、今後利用者の安全性を確保するため、家具等の配置場所に十分配慮して移動時等の事故防止に取り組むことが期待される。
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には馴染みの家具が持ち込まれており、利用者が安心して過ごせるよう工夫している。		

 は、重点項目。